

1 次の説明にあてはまる敬語の種類を、あとのア〜ウから選んで記号で書きましよう。

- (1) 話している相手や話題になっている人を敬う気持ちを表すときに使う言葉。 (イ)
- (2) あまり親しくない人や大勢の人に対して、ていねいに話したり書いたりするときを使う言葉。 (ア)
- (3) 自分や自分に関係する人の動作をけんそんなして言うことで、その動作を受ける人を敬う気持ちを表すときに使う言葉。 (ウ)

ア ていねい語 イ 尊敬語 ウ けんじょう語

2 次の文の——線で使われている敬語の種類を、あとのア〜ウから選んで記号で書きましよう。同じ記号を二回書いてもかまいません。

- (1) お客様からお菓子をいただく。 (ウ)
- (2) 校長先生がいすにお座りになる。 (イ)
- (3) 朝食にはパンを食べます。 (ア)
- (4) 先生が「本を読みなさい」とおっしゃる。 (イ)
- (5) お客様に学校をご案内することになった。 (ウ)

ア ていねい語 イ 尊敬語 ウ けんじょう語



1 次の文の中から正しい語を使っているものをすべて選び、() に○をか
きましよう。

(1) 正面に見えるのが京都駅です。…………… ()

(2) 明日はサッカーの試合がある。…………… ()

(3) 午後から雨が降るらしい。…………… ()

(4) おやつにシュークリームを食べました。…………… ()

2 次の文を、——線の言葉を正しい語にして書き直しましょう。

(1) 好きな食べ物はカレーライスだ。

好きな食べ物はカレーライスです。

(2) 祖父に手紙を書く。

祖父に手紙を書きます。

(3) 友達と午前十時に待ち合わせしている。

友達と午前十時に待ち合わせしています。

(4) 富士山は日本でいちばん高い山だ。

富士山は日本でいちばん高い山です。



1 次の文の——線の言葉を尊敬語に直します。あてはまる言葉を選択して書きましよう。

(1) 校長先生が教室に来るそうだ。() いらっしゃる

(2) 先生が花の手入れをするのを手伝った。() なさる

(3) お客様が飲むお茶を用意した。() めしあがる

なさる いらっしゃる めしあがる

2 次の文の——線の言葉を、「お(ご)——になる」という言い方に書き直しましよよう。

例 校長先生が本を読む。

お読みになる

(1) 先生が母と話す。 お話しになる

(2) お客様が部屋に入る。 お入りになる

(3) 大臣は会議に出席する予定だ。 ご出席になる

(4) 市長が、明日学校を訪問する。 ご訪問になる



敬語 4

謙譲語が正しく使える

月 日
名 前

1 次の文の——線の言葉をけんじょう語に直します。あてはまる言葉を□か

ら選んで書きましよう。

(1) 姉が市長から賞状をもらう。

() いただく

(2) 先生の作品を見ることになった。

() 拝見する

(3) お客様に「こんにちは」と言う。

() 申しあげる

申しあげる いただく 拝見する

2 次の文の——線の言葉を、「お()——する」という言い方に書き直しましよ
う。

例 校長先生の話を聞く。

お聞きする

(1) お客様を駅まで見送る。

お見送りする

(2) 大臣に現状を説明する。

ご説明する

(3) 先生に話し合いの結果を報告する。

ご報告する

(4) 午後一時に公園の前で待っています。

お待ちして



敬語が正しく使える

月 日
名 前

■ 次の文の——線の敬語の使い方が正しいほうに○をかきましよう。

(1) 父は来週の月曜日に学校にいらっしゃると申していました。

(1) 父は来週の月曜日に学校にうかがうと申していました。

自分や自分に関係する人の動作を言うので、けんじよう語を使います。

(2) お客様が、私たちのクラスの劇を拝見することになった。
お客様が、私たちのクラスの劇をご覧になることになった。

相手をお敬う気持ちを表すので、尊敬語を使います。

(3) 先生に「今度、私の家にいらっしゃってください」とお願いした。
先生に「今度、私の家にいらっしゃってください」とお願いした。
自分や自分に関係する人の動作を言うので、けんじよう語を使います。

(4) 市長も町内会の祭りにご参加するそうです。

(4) 市長も町内会の祭りにご参加になるそうです。

相手をお敬う気持ちを表すので、尊敬語を使います。

(5) 学芸会のはじめに、校長先生がお話しになる。

(5) 学芸会のはじめに、校長先生がお話しになられる。

尊敬語には「——れる(られる)」「を言う言ひ方もありますが、同じ尊敬語の「お——になる」と重ねて使うのは、正しくありません。

(6) 先生が「大事なことから覚えておきなさい」とおっしゃられる。
先生が「大事なことから覚えておきなさい」とおっしゃられる。
尊敬語の「おっしゃる」と同じ尊敬語の「——れる(られる)」「を重ねて使うのは、正しくありません。

(6) 先生が「大事なことから覚えておきなさい」と言われる。

